

農業と科学

1983
1

CHISSO-ASAHI FERTILIZER CO., LTD.



構造変化への対応と 指針としての本誌の使命

チッソ旭肥料株式会社
代表取締役社長

三戸二郎

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、一言ご挨拶を申し上げます。

当社肥料事業の発展につきまして、日頃から皆様方の一方ならぬ温かいご支援・ご鞭達をいただきまして、まことにありがとうございます。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

農業・肥料業界をとりまく環境は、年々、そのきびしさを深めております。農業においては、農産物の過剰・価格の低迷等に加え、昨今の深刻な財政事情、海外からの市場開放圧力等々の難問を抱えております。

また、肥料業界においても、昨年6月の産構審答申を踏まえ、「肥料の低廉かつ安定供給と肥料工業の健全な発展」という立場から、生産・流通面を如何に合理化するかについて腐心していることは、皆様方ご承知の通りであります。

このような難局を如何にして乗り越えていくか、そして、「明るい農業の未来」を築きあげるために何をなすべきか。皆様方と私どもに、共通する重要な課題と考えます。

日本の農業構造は、明らかに変化しつつあり、更に、その変革のテンポはますます加速されていくと思われま。農家労働の高齢化、世代の交替等が契機となって、農地の流動化、規模の拡大等、生産体制の変化が進みつつありますが、更に加えて、「日本農業の国際競争力強化」という観点から、農政面においても、生産構造の再編を通じて、「生産性の高い農業の実現」をはからざるを得ない情勢であります。

勿論、農業の生産性を向上させるためには、経営規模の拡大等をはかるとともに、それに適応した「新しい農業技術」が待望され、その確立を急がねばならないことは、当然であります。本誌をご愛読いただいている皆様方が、農業の第一線において、農業技術及び営農指導の専門的立場から、熱心な努力を続けられていることは、日本農業の将来にとって、極めて頼もしい限りであり、私どもといたしましても、皆様の研究と実践の成果を大いに期待する次第であります。

「農業と科学」は、ご高承の通り、「新しい栽培技術」を出来るだけ幅広く紹介することを目的とし、皆様

方からも貴重な論文を発表していただいております。お蔭様でご好評を得ておりますが、最近では、当社のコーティング肥料を使用した栽培技術の成果を多く紹介させていただいております。若干、手前味噌かも知れませんが、「LPコート」「ロング」の省力・省肥・増収・品質・安全性といった特長が、近代農業に要請される、新しい栽培技術に応える肥料として、急速に注目をあびてきた結果を示すものであり、本当にありがたいことと感謝しております。

「LPコート」による「ワンタッチ施肥法」（一回施肥）などが、最近注目されつつある水稲直播方式にも最適な肥料として、また、「ロング」が施設栽培の分野は勿論、茶樹の省力栽培肥料として、市場が拡大しつつあることは、メーカーとしてこれ以上の喜びはありません。

私ども、微力ではありますが、今後とも、新しい栽培技術にお役に立ち得るよう、肥料の改質、新肥料の開発に最大の努力を続けたいと存じます。

本年もどうぞよろしくご指導・ご鞭達下さいますようお願い申し上げます。

本号の内容

- § 構造変化への対応と
指針としての本誌の使命……………(1頁)
チッソ旭肥料株式会社代表取締役社長 三戸二郎
- § 研究と努力の成果
オランダの花き園芸……………(2頁)
神奈川県園芸試験場花き主任研究員 大川 清
- § 東京都「区部」の
軟弱野菜の栽培動向……………(5頁)
東京都農林水産部農芸緑生課専技 小林五郎
- § 今後の林地肥培と
コーティング肥料……………(7頁)
静岡大学農学部教授 伊藤 忠夫